

令和3年度使用 中学校社会科（地図）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><地形図、分布図、地勢図として活用する場合、色合い、グラフ、地名表記など、適切に表現されているかについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ UD書体を採用して、誰にでも見やすい工夫がされている。 ○ フラットデザインを採用し、学習内容に集中できるよう工夫がされている。 ○ 地図帳の活用方法を示した上で、「一般図」「資料」「統計・さくいん」の3部構成である。見開きページごとの図番号を通し番号で示したり、「資料さくいん」を設けて資料を探しやすくしたりする等の工夫がされている。 ○ 「ジャンプ」を示し、調べているページと関連する資料とを結びつけ、特徴をとらえやすいよう工夫がされている。 <p>△ 標高と地形区分による段彩を組み合わせることで地形の特色を読み取りやすくしている反面、土地利用を概観する地図との差別化を図ったが、地形と土地利用の関係を把握するには更に補充資料を示す等工夫が必要である。</p> <p><学習内容とのつながりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に合わせて、地図・資料が構成されている。写真や地図、グラフなどの資料を現行より増やし、生徒が具体的なイメージを持てるよう工夫がされている。 ○ 世界と日本の各州・地方の資料を、「一般図」「基本資料」「テーマ資料」の流れで構造化し、教科書との関連資料を掲載し、課題解決的な学習で活用できるよう工夫がされている。 ○ 「教科書準拠資料集」として、各分野の教科書との連携（歴史・公民関連ページを新設）が強化されている。教科書の補充・深化に繋がる内容になっている。補充資料も多い。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図は軽量化した（557g）。全192ページ。
帝国書院	<p><地形図、分布図、地勢図として活用する場合、色合い、グラフ、地名表記など、適切に表現されているかについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ UD書体を採用して、誰にでも見やすい工夫がされている。 ○ 地図帳の活用方法を示した上で、「一般図」「資料」「統計・さくいん」の3部構成である。統計資料は巻末に掲載され、地域の特徴や違いを捉えやすいよう工夫されている。 ○ 基本的に日本も世界の地図も等高段彩表現を用いており、土地の起伏感が捉えやすい。特に日本の地図表現では、地域のくらしや産業が見える土地利用表現と、地形が見える等高段彩表現を合わせた地図表現を用いる等の工夫がされている。 ○ 地域を俯瞰する地図が多数掲載され、特色をイメージしやすいよう工夫されている。 ○ 比較を通して地域の特徴が考察できるように、自然や人口などの主要素をまとめた資料図の縮尺や雨温図の単位等も統一されている。 <p><学習内容とのつながりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に合わせて、地図・資料が構成されている。資料は地域の特徴が偏らずに理解できるよう、多角的に題材が設定されている。 ○ それぞれの地域の特徴を具体的に読み取れるよう、「基本図」「鳥瞰図」「資料図」という配列で構成されている。 ○ 「地図活用」が随所に配置され、地図技能の向上や生徒が自ら考えより良いあり方について検討し、他の生徒と話し合ったり、協働して取り組めたりするような課題や作業の提示がされ、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習になるよう工夫されている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図は軽量化し（515g）、縦に3.9cm大判化して見やすい。全188ページ。

